

1 教育目標

《大好き!晴海台!~ふるさとを知り、ふるさとを知り、ふるさとに貢献できる子ども~》
めざす児童の姿

- しっかり勉強する子ども 「知」…確かな学力 正しい学習習慣
- きちんと決まりを守る子ども 「徳」…望ましい人間関係
- もっとふれ愛ことばを使う子ども 「体」…正しい生活習慣

2 学校経営方針

基本方針(ミッション)

諸法令等に則り、日々の教育活動を省察しつつ改善を図り、児童に確かな学力を身に付けさせることを通して、正しい生活および学習の習慣と望ましい人間関係に基づいた協働精神を持つ児童を育成する目標を、学校・家庭・地域が共有し、自他に誇れる校風を醸成する。

3 重点目標

- G1-1 確かな学力の向上、人権教育の基盤…授業中心、生活科・総合の充実(カリ・マネ、GT等人的物的資源の活用)、○○教育の整備統合
- G1-2 健やかな心と体の育成…外遊びと内遊びの充実、予防的生活指導の実践(教育相談等)
- G1-3 学校・家庭・地域の連携による教育の充実…学校評価の充実、学校支援ボランティアの充実、基本的生活習慣の定着、家庭との協働、あはは運動、家庭での学習習慣定着
- G1-4 子どもが安全・安心に学べる教育環境の整備…備品整理・廃棄処理の徹底、危機管理マニュアルの実質化

4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート集計			分析及び改善策
			肯定的割合(%)			
			児童	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	89	93	93	教育目標や学校の雰囲気については概ね良好な結果となった。ただし、業務改善については依然良好とは言えない。校務の適正化と効率化と共に、更なる職員の意識改革を図っていく必要がある。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	93	94	80	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			73	
	業務改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			47	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	82	86	40	生徒や保護者からは概ね良好な結果を得られたが、マナー等に関しては教職員の評価が極端に低い。実際、地域の方からも公共施設の使い方において指摘を受けるなど指導が必要である。今後は、保護者や学童クラブとも、さらに協力・連携し、地域全体で子どもを見守り、育てていくことが重要である。
		挨拶をよくしている	95	86	67	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	89	84	67	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	94	89	93	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	82	90	100	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	97	91	93	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	98	98	73	
特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	94	94	93		
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風の実態に即した教育を行っている	98	96	100	特色ある学校づくりにおいては、児童、保護者、教職員、共に良好な結果となった。課題は、保護者から見た児童の家庭学習の習慣化である。本校独自の「家庭学習の手引き」を、今一度児童と共有し、家庭における支援も含めて、目標を持たせ家庭学習に取り組ませる必要がある。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	99	92	92	
		家庭学習の習慣が身に付いている	95	81	92	
	キャリア教育	将来の進路や職業について適切に指導している	92	86	93	

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	92	94	93	コロナ禍の中、手洗い等を意識して取り組んだり、1月の縄跳び大会に向けて、自主的に練習に励んだりした結果、良好な結果となったようだ。今後も継続したい。
	体力向上	基本的な生活習慣が身に付いている	84	90	86	
		体力向上に努めている	92	94	93	
	食育	食に関する教育活動を行っている	81	93	100	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	97	94	93	学校便りは、週に数回のペースで校長が発行し、ホームページにも公開した。保護者や地域の方から高い評価を得ている。
	情報提供	学校の状況は、通信やHP等で知ることができる	81	96	100	
	PTA・地区との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	86	95	93	
	職員の資質向上	研修が充実し、資質が向上している			93	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	88	94	80	教育環境をより充実させるため、常に教材教具の点検や整備を行った。また、働きやすい職場として教職員の評価も高かった。施設の修繕等については、事務職員が率先し改善に努めた。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			93	

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

児童の自己評価において、昨年度と比べ数値がより高くなったのは、あいさつや平和学習に関することで、年間を通した取組の成果である。また、保護者の自己評価として、昨年度と比べて、教育目標や学校の雰囲気が高くなったとの回答は、学校としても大きな喜びである。一方、「いじめ防止」に関しては、児童や保護者の肯定的割合は高いものの、教職員の100%に比べると低い結果となった。よって、より一層、教師と児童、保護者との信頼関係を構築するため、日頃の生活アンケートや個人面談はもちろん、児童の言動にある小さなサインを見逃さないために、いじめの萌芽の把握に努め、早期発見・早期解決を目指していく。また、児童自身の自己肯定感をさらに高めるためにも、道徳教育を充実させ、いじめが起こらないような働きかけを全教職員で行っていく。

教師の自己評価は、肯定的意見が60%以下のものが2項目あった。ルールやマナーについては、実際に児童の課題はあるものの、全職員の高い意識が低評価につながっていると思われる。業務改善については連続して4.5時間超過勤務の教職員はいないが、校務の縮減と適正化については、今後も積極的に進めていく必要がある。

6 学校関係者評価

全9項目の質問の中で、「子どもはルールやマナーを身に付けている」の肯定的評価が74%で最も低く、地域のふれあいセンターでのゴミの散らかしや追っかけっこ等のマナー違反もあったり、上級生が下級生に対し、思いやりのある言動にかけたりするなどの指摘もあった。しかし、それ以外は全て93%以上で、「保健・衛生」、「安全管理」、「情報提供」に関する肯定的評価は100%であった。特に、学校だよりにおいては、以下のとおり感想を頂いた。

○学校だよりを頻繁に配付していただき、毎回楽しみに読ませていただいている。登下校の子どもたちがいつも元気に挨拶してくれるので嬉しく思う。

○学校便りはいつも楽しく感心したり、なるほど…と考えさせられたりと読ませて頂いている。自治会の回覧板にも閲覧し、たくさんの住民に子どもたちの今を知る機会が増えた。

○いつも学校便りをたのしく読ませて頂いている。残念だが子どもたちとの接点がないため、アンケートに答えることができないが、新1年生の保護者の方々から聞くと「先生方が細やかにフォローしていて子どもが楽しんでいる。」とのことである。

○いつも学校便りを楽しく読ませていただいている。便りで「ころころぼん」を取り上げていただき、2004年の立上げ当時は思い出させてもらった。

○学校便りの内容が素晴らしい。毎回、隅から隅まで読み、ホームページでも見せて頂いている。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

◎ルールやマナーについては、保護者や学童クラブとも連携・協力して、高学年を中心に規範行動意識を高めていく。いじめ防止対策として、あらゆる方法で情報収集に努め、何よりも、子どもが必要とされている喜びを感じ、自信と自己肯定感をもてるような学校・学級作りを進めていく。

◎教育目標については、教職員が現状に満足せず、より高いレベルを目指し、さらに深化を図る。

◎今後も地域の中の学校として、「大好き!晴海台」を大きな共通テーマを柱に、保護者、地域の方の願い、そして、教師の願いを踏まえた教育活動を推進していく。